

ごあいさつ

代表世話役 西本 孝

新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着いてきましたが、再度の拡大も考えられ、まだまだ予断を許さない状況です。100 年前のスペイン風邪では、終息までに 3 年かかっていますので、ワクチンができたとは言え安心できる状態ではありません。その中で、社会生活も正常化に向けて様々な形で動き出し、私たちの関係する野外活動も再開を始めています。新年会は中止となりましたが、3 月 14 日には久しぶりに自然観察会を開催し、遠路参加した 15 名の方々と一緒に、貴重な植物の宝庫になっている新見市草間台で、群生する早春の花を堪能することができました。

今後は、4 月の毛無山での自然観察会、6 月の総会、9 月の中国地方 5 県の交流会と続きます。これからも会員の皆様と一緒に、自然観察を通じて自然の不思議さを実感しながら充実した楽しい時間を持ちたいと思っています。皆さまの参加をお待ちしております。

## 第 17 回自然観察会の報告 (詳細は大森隆志さんの報告を参照)

- 開催日時：2021 年 3 月 14 日 (日)
- 岡山県の生物多様性のホットスポットを訪ねて (No.2) 草間台の春植物ーその 1
- 内容：15 名が参加して、ユキワリイチゲ、セツブンソウ、アズマイチゲなど春先に開花する石灰岩地特有の植物を観察しました。

## 第 18 回自然観察会 早春の毛無山の動植物 (第 3 回) (締切 4 月 22 日)

- 開催日：2021 年 4 月 29 日 (木・祝)
- テーマ：早春の毛無山の動植物
- 集合 午前 10 時 田浪キャンプ場駐車場
- 行程 毛無山登山道を 3 合目までを往復
- 持ち物 飲み物、双眼鏡、筆記用具、雨具
- 申込 西本 ([taknishi@js4.so-net.ne.jp](mailto:taknishi@js4.so-net.ne.jp))
- 見所 早春の明るい森林内を彩る花々や、野鳥やムササビなどの動物も観察します。
- 昼食 毛無山山の家 (1000 円程度の実費)
- 解散 14 時
- その他
  - ・新庄村森林セラピー協議会との共催です。
  - ・会員の皆さまも知人に呼びかけるなど、紹介してください。

## 年次総会と第 19 回自然観察会のお知らせ (詳細は後日お知らせします)

- 開催日：2021 年 6 月 13 日 (日)
- 会場：総会は、e-Tam 自然と教育研究所 (10 時~12 時)、自然観察会は、岡山市こどもの森 (14 時~15 時)
- テーマ：新緑の森の生きもの
- 自然観察会：都市の緑地帯で、一般公募した親子と一緒に園内を散策して、新緑の頃の森の生きものを探します。

## 県外研修 2021 (有志による活動)ー五色ヶ原、乗鞍岳、上高地のお知らせ

- 開催日：2021 年 7 月 31 日 (土) ~8 月 3 日 (火)
- 場所：五色ヶ原：手つかずの自然が残された場所で自然観察のために整備された 8 時間コースをガイドと一緒に巡る。乗鞍岳：未明に出発し、山頂でご来光を見て、高山植物を観察する。上高地：梓川周辺の植生を観察する。
- 内容：自家用車に分乗して、自然保護と観光が融合した場所を訪問し、秘湯にも宿泊する。
- 申込：西本まで。詳細をお知らせします。

## 中国地方 5 県交流会 (担当は広島県) と第 20 回自然観察会のお知らせ

- 開催日：2021 年 9 月 19 日 (日) ~20 日 (月・祝)
- 場所：北広島町八幡高原 (広島県)
- 内容：西中国山地での生物多様性保全活動の取り組みを視察する。
- 宿泊：安芸太田町の深入山いこいの村
- 申込：西本まで (締切 7 月末頃)

3月14日(日) 晴れ時々曇り、参加者15名で、私の自宅付近の畑で、自然観察会を開催しました(写真1)。

まず、自宅下の昔田畑であった所でアズマイチゲ・セツブンソウ・キバナノアマナ・アマナ・ニリンソウを見て、数日前に猿にほとんど食べられてしまって唯一残っていたシュンラン(蕾)・キランソウ・ヤマネコノメソウと続き、一瞬キタキチョウ・モンシロチョウが飛び、水たまりにはヤマアカガエルの卵塊があり、土色のニホンアマガエルも出てきていました。



写真1. 自宅近くの畑の跡地で群生する早春の花を観察した。



アズマイチゲ



セツブンソウ



キバナノアマナ



アマナ



ニリンソウ



シュンラン(蕾)



キランソウ



ヤマネコノメソウ



ニホンアマガエ

続いて家の裏山に上がり、ショウジョウバカマ(花芽)・セリバオウレンを見て(写真2)、硯石の所を歩いてイチャクソウ(葉)の所で、西本先生はアラカシの株立ちを珍しいということで熱心に見られていました。そこにはカタクリが一本、花芽を出していたので、今年は咲きそうです。ニホンミツバチの巣がかけである美保神社から石段を降りて、再び最初の所へ戻りました。

前日の天気が悪く、当日も午前中は肌寒かったのですが、昼頃になってようやく暖かくなり、参加した皆さんは、絵になるぐらいたくさんの花が開いたアズマイチゲやキバナノアマナの写真を熱心に撮影していました。

なお、この他に、山野草ではイチリンソウ(蕾)・キジムシロ・キビシロタンポポ・ノジスミレ・タチツボスミレ・カテンソウなどが、樹木ではフユイチゴ(実)・ヤブコウジ(実)・ナワシログミ(実)・タラヨウ(葉)がありました。

また、ホソアシナガバチの細長い巣を拾われた方もいました。時間配分がうまくいかなくて、最後は尻切れトンぼになってしまいましたが、群生するユキワリイチゲの開花の様子が見られた様なのでほっとしました(写真3)。なお、最初に案内した所は、田んぼビオトープをつくるなど整備していくつもりです。



写真2. 植林の縁で群生するセリバオウレン。



写真3. 昼頃に、日光を受けて暖かくなって花を咲かせたユキワリイチゲ。